

緑区社協ボランティアセンターだより

夏休み学生ボランティア報告 ～たくさんの学生さんに参加していただきました～

緑区社協では7月半ば頃から、夏休みを利用した学生ボランティアを募集したところ、たくさんの学生さんがボランティア相談コーナーに相談に来てくれました。そこで、この夏ボランティアに参加してくれた学生さんの中から緑区在住のお2人にボランティア活動の感想などをきかせてもらいました。



県立霧が丘高校3年生
中村 瑞生さん(緑区在住)

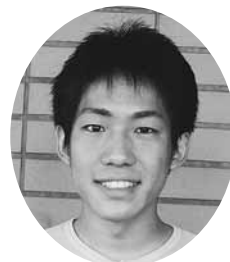
ボランティア内容
東本郷地域ケアプラザのデイサービス

●参加しようと思ったきっかけは前々からボランティアには参加したいと思っていたのですが、夏休み前に学校で緑区社協のボランティア募集のプリントをもらったので、良い機会だと思い参加しました。

●実際に活動した感想を聞かせてください。
実際に高齢者の方々と接し、福祉分野にさらに興味を持つことができました。また、利用者の方も働いている方も笑顔があふれていて、温かさを感じながら楽しく活動できました。

●今後もボランティアに参加したいですか？

もっと多くの施設でボランティアに参加して、自分自身の福祉に対する興味を深めていきたいと思います。



慶應義塾大学4年生
原 広行さん(緑区在住)

ボランティア内容
十日市場こども園、障がい児余暇支援、牧野ケアセンター夏祭り、ライフプラザ新緑納涼祭

●参加しようと思ったきっかけは今までイベントの運営補助や災害地支援などのボランティアをしてきましたが、夏休みに入り時間ができたので、今まで体験したことのない種類のボランティアに参加したくなりました。そこで、自分が生まれ育った緑区で地元で貢献したいと思いボランティアに参加しました。

●実際に活動した感想を聞かせてください。
こども園でのボランティアは、子ども達が私を受け入れてくれるかとても不安でしたが、彼らの方から私に興味を持って接してくれたので正直助けられたという気持ち一杯でした。

彼らは本当に素直で純粋で何かをする時の意欲が非常に強く、毎日何かを取り込もうとしている様子を肌で感じました。このことは彼らにとっては普通のことかもしれませんが、取りあえず大学に通っているというような生活を送っている私には大きな衝撃となりました。

●今後もボランティアに参加したいですか？
ふじ寿か園のボランティアには毎週参加していく予定です。

夏休み以降もボランティアを募集しています

ボランティア相談コーナーには夏休み以降のボランティア依頼もたくさんあります。土日の単発の活動もありますので、夏休みに参加できなかった方もぜひお問い合わせください。
もちろん、社会人の方のご参加もお待ちしています。

学生さん以外の方も大歓迎

現在募集中のボランティア

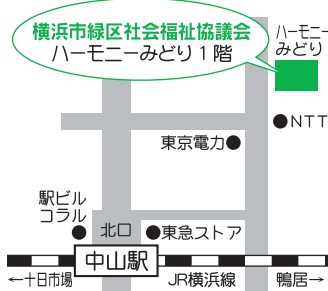
- 障がい児の放課後活動の見守り
- 高齢者の話し相手
- 高齢者施設でのレクリエーションのお手伝い
- 障がい児・者の付添い など

お問い合わせ・ご登録

ボランティア相談コーナー（緑区社会福祉協議会内）

受付：9:00～17:00 月～土
TEL:935-7807 FAX:934-4355

緑区社協までの案内図



【最寄り駅】
JR横浜線「中山駅」北口
または横浜市営地下鉄グリーンライン「中山駅」出入口①
下車徒歩約7分

社協だより みどり

発行 社会福祉法人 横浜市緑区社会福祉協議会 緑区中山町413-4/ハーモニーみどり内 TEL 931-2478 FAX 934-4355
ホームページ: <http://www.midori-shakyo.jp/> 平成23年10月発行

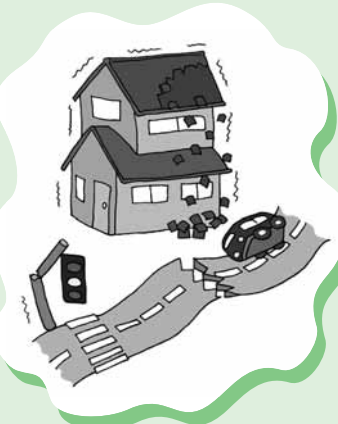
3/11 東日本大震災の日、みなさんはどうしていらっしゃいましたか。

今回は障がい者など「災害時に援助が必要な要援護者」について考えます。

緑区では、平成23～27年度で、みどりのわ・ささえ愛プラン（第2期緑区地域福祉保健計画）が実施されます。

「誰もが安心して暮らし続けられる緑区をめざして」～一人ひとりが主役・共に支えあうつながりのあるまちづくり～を基本理念に、5つの基本目標で構成されています。

基本目標の1つである「安全・安心・健康」のまちづくりの中で、緑区社会福祉協議会は、『地域・施設・要援護者の連携と理解』を目標とした事業に取り組みます。



横浜市では、災害時などが起きた時、
『支援してほしい人』は黄色
『支援できる人』は緑色
の布をつける取り組みを進めています。
(H20やさしい防災マニュアルより抜粋)

次ページでは、様々な方に東日本大震災で感じたことを取材しています。

